

当院におけるマルチホールカバー金属ステント使用の実情

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止をご希望される場合は、下記の「問い合わせ先」までご連絡下さい。

研究の目的と方法

これまで悪性肝門部領域胆管癌に対する胆管ドレナージではプラスチックステントやアンカバー型金属ステントが使用されていましたが早期閉塞や閉塞時の抜去困難などの問題がありました。2025年4月よりマルチホールカバー金属ステントが新しく使用可能となり、プラスチックステントとマルチホールカバーステント留置時の安全性、有用性を比較することを目的とし研究を行います。診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2025年7月～10月に悪性肝門部領域胆管癌に対してマルチホールカバーステントを留置された方

使用する試料・情報

年齢、性別、診断名、既往歴、手技時間、合併症率、手技成功率、臨床的成功率、開存期間など
使用開始予定日：研究実施許可日

研究予定期間

2025年11月30日～2025年11月30日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 消化器内科 古川歩生

[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報の利用を希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さん治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先	済生会熊本病院 消化器内科 古川歩生 住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)
--------	---